

ふじなみ

ふじなみ会総会のご報告

2001年7月1日 初夏、大阪女子短期大学高等学校



学び舎の木々も、新芽で優しく色づいた季節に、ふじなみ会総会を執り行うことができました。新校舎完成で大きく立派になったキャンパスを祝い、1期生からこの春の卒業生に至るまで多くの世代の同窓生179名に加え、教職員の先生方も懐かしい方から現職の方まで多数ご出席していただき、第一部は総会と同窓生活躍紹介、第二部懇親会という二部構成で行いました。

第一部は、最新の設備を備えた新校舎のグリーンホールで行いました。オープニングを華やかに飾ってくれたのは、橋本貴子さん(42年卒)とご主人による素晴らしい社交ダンスでした。ご夫妻はスポットライトの中、華麗なステップワークと息の合った演技を披露して下さいました。続いて実施されました総会では、事業報告、会計並びに会計監査報告、規約改正、役員改選といった議題が審議され承認されました。役員の異動としましては、書記の橋本貴子さん(42年卒)が、母校図書館から大阪商業大学図書館への転勤ということで、退かれました。一方、新たに江沢一子さん(46年卒)が副会長、松本美智代さん(50年卒)が書記をそれぞれ引き受けて下さいました。また、母校幹事として、新たに東武三先生、好永保宣先生のお二人が引き受けて下さり、これまでお世話頂いている橋本先生を加えた3人体制で今後ふじなみ会を支えて下さることになりました。母校のご厚意に改めて感謝いたします。

そして一部の掉尾を飾ってくれたのは、上地礼子さん(46年卒)とその一門の皆様による琉球舞踊でした。上地さんは、琉球舞踊川田流で師範・川田綾子を襲名し、数々の公演をこなしています。独特のゆたたりリズムの中で繰り広げられる舞台は、客席を魅了し沖縄の世界に引き寄せていきます。沖縄民謡のどこか懐かしい調べ、美しい衣装と優美な踊り、時間を忘れるほどの優雅な時間を堪能しました。



第二部は、場所を母校の新しい食堂である「カフェテリア・バステル」に移し、会食を楽しみました。池田喜代子先生の音頭による乾杯の後、マイクを通してのスピーチタイムでは、卒業年度毎の同窓生の紹介やそれぞれの伝えたい思いや活動を同窓生に語りかけたり、懐かしい先生方の近況を伺ったりしました。時に笑ったり、時にほろりとさせられたり、こうした空間を共有できる母校という場があるということは本当にいいものだあと改めて感じさせられました。最後は、恒例の「カラオケ大会」に盛り上がり、役員まで踊りだしたりという楽しい雰囲気の中、次回総会での再会を約束しつつ閉会となりました。



ご挨拶



会長
室谷千代子

雲の晴れ間に見る青空、すっかり夏でございます。同窓会員の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

昨年、リニューアルされた母校にて開催いたしました総会は、多数のご臨席を賜り、無事盛会に終えることが出来ました。これも偏に皆様方のご支援、ご協力のお陰と深く感謝いたしております。また、東田校長先生の深いご理解のもと、母校幹事として

この一年を顧みて



校長
東田 政重

「ふじなみ会」会員の皆様方には、ここ暫くご無音に打ち過ぎ失礼致しております。本会報を拝借し、そのお詫びとご機嫌をお伺い申し上げます。

つい先日までの校門は、植え込みにみる紅白の装いで、鮮やかな舞踏が、登・下校する私たちの心を和ませてくれていました。この会報の原稿の欄目を埋めている今は、その後に続いた大振りの真赤な西洋石楠花が、いとも艶やかな姿を披露し、まことに見事です。ところで、皆様方の後輩たちは望み通り着実に成長の歩みを運んでくれています。生徒たちの健康な掛け声、笑い声、そして歌声などが、毎日のようにキャンパスの彼方此方から聞こえております。

さて、この一年間の明け暮れを顧みますと、旅客

新たに東武三先生、好永保宣先生が加わって下さり、この総会に際しまして多大なご尽力を頂きましたこと心よりお礼申し上げますと共に、皆様にご報告申し上げます。

此の度、母校では、時代や社会のニーズに対応する有為な人材の育成に更なる飛躍を目指し、新コースが設けられました。恵まれた教育環境や新校舎、施設設備をベースに創意工夫が十分に活かされた教育内容は、正に私学、学園学園ならではの素晴らしいものだと思います。総会当日、皆様方から頂きましたアンケートの中でも、「少子化に向い、学園経営も大変でしょうが、いつまでも母校があり続けるために、私たちの役割を感じました。」とのご意見がございました。「ふじなみ会」と致しまして、今後、会員相互の交流と親睦を図りつつ、母校の発展の一端を担っていくべく活動を続ける所存でございます。会員の皆様の一層のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

機突入を以てする前代未聞のニューヨークの超高層ビル破壊をはじめ、国の内外で多数の掛け替えのない生命を奪うという苛酷な事件が連続し、皆々心を痛めたことでした。その中でも、本校行事に直接影響したのは、毎年秋季に予定しているオーストラリアへの二年生の修学旅行でした。言うまでもなく、次々と引き起こす可能性を秘めたテロ事件、人命に関わる重大事であるだけに、安全第一主義の考えに立って一先ず取り止める決定を致しました。そして、改めて実施の方向に目的を付けるために、担当部署では精力的に関係情報の蒐集・分析を続け、新春気分も薄れた頃になって懸念無しとの判断を下しました。それによって、漸く二月末から三月初めに掛けて、念願の当該旅行を実施する運びとなりました。但し、利用航空機の都合により、今年に限り二手に分かれて搭乗せざるを得ない始末となりましたが、お陰を以て参加者全員、元気に旅立ち、元気に帰国致しました。時が時だけに、思いも一入の修学旅行となりました。

以上、やがて「ふじなみ会」に仲間入りする筈の生徒たちが、額に汗して学習に励んでいる一端をご報告する次第です。調筆するに当たり、皆様方には幸多い日々の訪れが陸続とありますことを、衷心より折念申し上げます。

総会に参加して

原田 捷子
(昭和35年卒業)



日でした。ありがとうございました。

私は、20年ほど前から、たんすの中の着物を、かんたんなきものによみがえらせませんか!!と呼びかけ、間屋さんを通じ、西日本に広めるためのきものショーなどもさせていただき、かんたんなきもの着つけ教室(ワンタッチきもの・帯)とツイース、ワンピース各種デザインきもの、軽装帯リフォーム教室を開いております

だけに縮小し教えております。この先、いずれ私たちの親も、もっと弱ってまいります。その時にあわてないようにと、主人にアドバイザーされたのがきつかけです。縁ある人たちは、かけがえない人!!

年を重ねるごとに、月日は矢の如く過ぎ去ります。これからも、毎日を楽しみ、今を大切に、いつくしみの心をもっと深く持たたいと思います。

末筆になりましたが、母校の益々のご発展と、皆様のご健康とご幸福を、心よりお祈り申し上げます。



昨年の総会は、立派になった新校舎で、久しぶりに懐かしい皆様にお目にかかり、楽しい一時を過ごさせていただきました。昔の甘い恋の話は少ししかなく、健康や福祉の話、孫の話など、話題も変わり...でも一人一人をじっくり見つめると、学生時代そのままの(体形、しわなどはちょっと横においといて)私のかげがえのない友人、知人たちなのだ、今さらながら、心の底からの嬉しさをかみしめた

が、5年ほど前から、3カ所だった教室を徐々に自宅



シリーズ No.3 「なつかしい先生...」

回想

森口 弘
昭和39年4月
~平成元年3月
旧職員



あれから丁度14年の歳月が流れました。早いものです。腕一杯の花束、そして記念写真など撮ってもらって学校を後にした日のことでした。溯って昭和40年代は学級数も多く学校全体が活気に溢れていましたね。E.S.Sを担当して文化祭での英語劇稽古のため、夏休み特訓で青山高原へ出かけました。月の光を浴びて夕食後も稽古に励みましたね。当時の部長さんが先頭に立ってよくまとめてくれました。私ので私にはただ見守っているだけであったのも昨日のことのように想い出されます。

その後、力不足でしたが書道部の顧問として今はじき吉川鴻村先生の跡を継いでお世話することになりました。当時の書道部は文化部の中では最も多くの部員を抱えて上手な人も多く、新任の私には不満に思っておられた人も多かったので

はないでしょうか。経験不足と自信のなさでしたがなんとか務めたものでした。夏の合宿は千仏院でお世話になりました。多人数で大きな作品に取り組みましたので墨汁でお寺の畳を汚さないようにとずいぶん気を遣ったものでした。部員の皆さんは私の下手な指導にもよくがんばってくれました。それ以上にお寺のご厚意と国宝級の居並ぶ諸仏の靈氣を受けたことによるのでしようか、多くの力が仕上がり文化祭に花を添えることができました。

私もその後、公募展に出品させて頂いたり会の役員をさせて頂いたりしました。角に句碑を建てて頂くことになりました。ご承知のように當麻寺は今を遠く推古20年の草創になる名刹で古今東西の文化人による句碑のあることで知られています。この度、拙書



の一句が選ばれましたのは仏縁と申しましょうか光栄という外ありません。書道部の合宿中、深く感応するところあって書き置いたものです。「うつし世に極楽ありと念ずれば 走馬灯のように想いは駆け巡ります。今ではすべて楽しいことばかりが思い出されます。どこかでお逢いしたら「先生!」と声をかけて下さい。それが最高の喜びです。では、又の日を楽しみに。

医療過誤を乗り越えて

昭和40年卒業 佐々木孝子



平成6年、高校2年生になる息子は、交通事故で豊中市内の救急病院に運ばれました。意識ははっきりとしていました。入院してしばらくして多量の吐血があり、内臓破裂ではないかという私どもの問いに、主治医は「鼻血を飲み込んだものだから心配しなくてよい。」との返答でした。ところが、入院9日目に十二指腸破裂とわかり緊急手術をしたもので事後に手後れで、事故から15日後に息を引き取りました。葬儀の後、「どうして、あんなことになったのか」という疑念が募り提訴を決議、過誤を認めない病院側との裁判は、5年余りに及びました。医療分野にも、裁判にも素人の私どもにとっては、ほんとうに長く苦しい闘いでした。平成9年によくやく勝訴しましたが、失われた息子の命は戻ってきません。ただ、もう同じつらい思いをさせる人を作りたくないという一心から、この

経過を本にまとめまして、「悲しき勝訴」医療過誤に挑んだ母の執念」というタイトルで自費出版致しました。昨年7月のふじなみ会総会におきまして、私どもの医療過誤裁判のお話をさせて頂きました。少しの時間でしたが、ご出席のみなさまにお話を聞いて頂き、この経過を知って頂いたことは、私にとりまして心の癒しとなりました。また、総会後も様々な同窓生からはけましたお言葉を頂き、改めて人の温かさを感じたような次第です。ありがとうございました。

「私」

石谷 明美
(昭和61年卒業)

「ンギョー!!」と産まれてから高校を卒業するまでの18年間

より、今日までの16年間はおもしろいな事があった。結婚し

出産。その結婚も世間の多くとは反対の婚養子というパターン。多くのご主人が体験する嫁と両親とのサンドイッチ状態を経験。しかし、家に居るのが私なのでその点では救われたかも。同じ仕事をしていても気は楽。でもへたすると24時間主人と親と私と同じ空間にいるわけで里帰りや文句を聞いてもらうこともなく...そんな数年間が始まりだった。

そんななか、私も結婚した年に妊娠。普通に出産するのが当たり前と思っていたのに、男の子を死産。42週目の事だった。二度と妊娠はしないと決心したのにそれから一年命日に妊娠がわかり10ヶ月後女の子を出産。それから一年半後男の子を出産。今は二児の母であり、両親の後を継ぐため主人と頑張っている。今となつては、両親と主人が本当の親子のよう。結婚して10年。やっと家族って感じがしてきた。そ



んな話も、友達が聞きつづけてくれている。今も交流があり、当時のまま変わらない。くだらない話も34歳という大人の話もあるあの時のままの状態でおもしろおかしく話せる友人たち、100の言葉より一つの行動が夢に近づく、そう言われて励まし合いつづけてきた。夢も希望もすすんだ道も違うけど必ず同じところにたどりつく。今日からもすべてが始まる。新しい毎日がつづいていく。16年前の私たちが今の私たちも変わらないあの時のまま。

大阪女子短期大学高等学校 同窓会『ふじなみ会』新役員



- 名誉顧問 理事長 谷岡太郎先生
- 名誉会長 学校長 東田政重先生
- 母校幹事 橋 哲先生
- 東 武三先生
- 好永保宣先生
- 会長 室谷千代子 (昭和46年卒業)
- 副会長 河合須美子 (昭和46年卒業)
- 豊永 昌子 (昭和54年卒業)
- 江澤 一子 (昭和46年卒業)
- 書記 松本美智代 (昭和50年卒業)
- 会計 上田 俊子 (昭和49年卒業)
- 会計監査 佐藤 佳子 (昭和26年卒業)
- 小林 孝子 (昭和35年卒業)

すてきな仲間

坂尾昭子 出水勝美
昭和47年卒業

いつまでも元気で5年に一度のクラス会に集まれる事を楽しみに会は終わりました。

昭和47年に卒業しまして、約30年がたとうとしております。平成13年5月20日に伊丹先生を開いて29名の出席でクラス会が開催されました。皆、それぞれの近況報告などを話し、なかにはおばあちゃんになっていく人もいたのにはビックリです。その後新しくなった学校を見学に行き私たちの時代には考えられないようなステキなキャンパスで昔の事を思い出し、なつかしい話に花が咲き、時間があつという間に過ぎてしまった一日でした。



5月20日のクラス会にて

祝 バレーボール部 インターハイ出場

母校バレーボール部は、西田守先生のご指導の下で、選抜大会(春高バレー)準優勝をはじめとして数々の優秀な戦績を残してきました。平成12年に西田先生が退職されてからは、クラブ指導を井上弘樹先生が引き継ぎ、これまで以上に練習に励んできました。



この春に実施されたインターハイ大阪府予選では、前評判通りの強さで勝ち進み、決勝リーグでも2勝1敗の好成績で4年ぶりとなる全国大会出場を決めました。おめでとうございます。8月に茨城県で開催されますインターハイでも、活躍を期待しています。

第54期生 ご卒業 おめでとうございます

平成14年2月23日に第54期生218名が卒業され、「ふじなみ会」の新しい会員になりました。恒例となった式後の卒業生による「クラス紹介」では、卒業生が、担任の先生をはじめとする先生方への感謝の気持ち、学校を去って行く寂しさ、巣立ってゆく喜びなどを切々と訴え、会場中が彼女たちの熱い気持ちに心うたれました。山田先生をはじめとする担任の先生方も思わず涙が…、という場面もあり、日頃の教育活動の素晴らしさをあらためて感じさせられました。

第54期生からも、学年幹事2名とクラス幹事各組2名ずつ計10名を選出して頂き、「ふじなみ会」の活動に協力して頂けることとなりました。よろしくお願いいたします。



同窓会クラス委員 (平成14年3月卒業)

- | (学年幹事) | | (クラス幹事) | |
|------------|------------|----------|-------|
| 兵頭 操子 (4組) | 松永 匡代 (4組) | 1組 佐竹 詩子 | 村岡加那子 |
| | | 2組 小川あかね | 前川 宏美 |
| | | 3組 鷹巣あやか | 高橋 美奈 |
| | | 4組 兵頭 操子 | 松永 匡代 |
| | | 5組 川上 真依 | 北原 久示 |
| | | 6組 松尾江里子 | 丸野 博子 |

卒業記念品

本年度は印鑑付きボールペンを記念品として卒業生に配らせていただきました。

さらなる飛躍を目指して大きく変わる母校 〜新コースと二期制+ウインターセッション〜

高等学校では、次年度より新しい学習指導要領が実施されます。この学習指導要領では、

- ① 豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚の育成
 - ② 自ら学び、自ら考える力の育成
 - ③ 基礎・基本の確実な定着と個性を生かす教育の充実
- などを目的とし、各専攻が創意工夫を生かし、特色ある学校づくりを進めることが求められています。これに伴い本校でも、普通科の中に総合・英語・特別進学文系という3つのコースを設け、自らの将来をしっかりと見据えた活動ができるように変わります。

◎各コースの概要について

総合コース

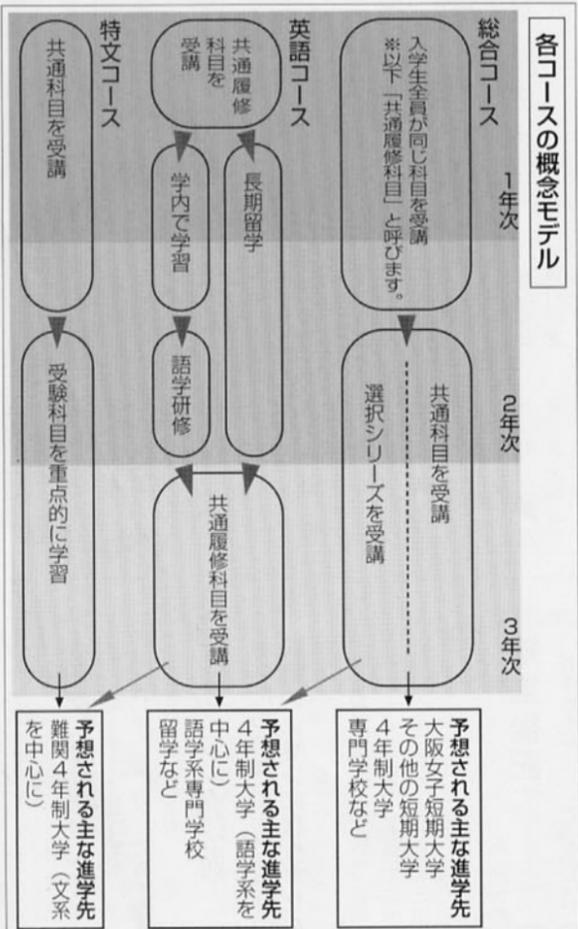
「基礎の充実と自己の興味を深め、個性を伸ばす」ことを目標に、入学生全員が共通に履修する科目で基礎的な力をつけ、各選択群で興味を深めたり、進路を実現するための力をつける授業を行います。選択群は、「国英」「理数」「幼児」「家庭(生活科学)」「芸術」の5つを用意し、本人の意思に基づいて選択をします。選択は第4期(2年生の後期)から始まり、第6期まで受講します。また、「理数」による授業も行われる予定です。

英語コース

「自己表現のために必要な知識や常識を習得し、表現方法としての英語力を習得すること」を目的とし、1年次から英語を中心に学習を行います。その一環として全員が2年次に実施される1年間の留学または3ヶ月の語学研修のいずれかに参加します。これにより生きた英語を学ぶとともに、これからの国際化社会を生きていく力を身に付けます。さらに、3年次では受験対策の授業を行うなど、進学に対するフォローもします。

特別進学文系(特文)コース

「私立の難関大学に合格する力をつける」こ



とを目標に、より実戦的な力を平時からつける授業が行われます。このコースは7限授業を行うと共に、日常的にフォローアップができる体制によって学力の定着を図ります。また、3年次では受験対策の授業を集中的に行うことで、様々な受験の方法に対応する力身に付けます。

二期制+ウインターセッションについて
前期・後期にウインターセッションと呼ばれる短期集中講座(以下WS)を加えた、変則的な2期制を実施します。前後期はそれぞれ、第1期から順次、第6期と呼ばれ、3年間を通じた様々な科目を系統立てて受けることができるようになります。また第2期終了後(一般的には1年3学期)にWSⅠ、第4期終了後(一般的には2年3学期)にWSⅡが設定されます。WSは、週5日の5ないし6週連続実施という形の短期集中講座で、生徒の一人一人の到達度別に1年間の学習内容の復習や応用力をつけるための学習を行います。

退職・転勤された先生方

◎退職された先生

乾 典子先生



教科 地歴公民・数学

昭和40年～平成14年

木下 昌彦先生



教科 英語

昭和40年～平成14年

◎転勤された方

橋本 貴子さん



事務センター
昭和45年～平成13年
ふじなみ会旧役員
(大阪商業大学図書館へ異動)

姉妹校・大阪商業大学高校もバージョンアップ



厚母 眞一校長

同じ学校法人・谷岡学園の姉妹校である大阪商業大学高校(東大阪市御厨栄町4-1-10)も母校と時を同じくしてコース制を導入し、大きく飛躍しようとしています。新しく設けられるのは、次の

- ① グローバル商大コース：系列校である大阪商業大学進学を目指します。情報科目を多く配当している他に「簿記」「会計」などの商業実務も学ぶことができます。
- ② スポーツ専修コース：体育実技やクラブのみならずトレーニング理

論、救急救命法や栄養学まで幅広く学ぶことでスポーツ分野で活躍できる人材を育成します。

- ③ 国英プログレスコース 少人数制グレード別クラス編成や放課後補習などで国立公立大学や有名私立立大学文系進学を目指します。
- ④ 数理プログラミングコース 習得を目的とします。
- ⑤ デザイン表現コース：系列校である神戸芸術工科大学と連携し、デザイン、CG、造形などを専門的に学び、美術系大学進学を目指します。

また、「デザイン表現コース」は男女共学となります。厚母校長によりますと、「生徒の多様なニーズ・個性・適性に応えるプログラム」とのことです。校長の厚母先生、教頭の尼子先生ともに、私たちの母校・大阪女子短期大学高校で永く活躍されていた先生です。興味がありましたら、是非問い合わせしてみてください。

主な年間行事(予定)

4月 入学式 始業式 対面式
オリエンテーション 学力テスト
健康診断 スポーツテスト

5月 中間考査 避難訓練
校外学習

6月 コーラス大会 弁論大会

7月 期末考査 終業式 三者懇談

9月 始業式 実力考査
緑涼祭(体育の部、文化の部)
芸術鑑賞

10月 中間考査 修学旅行(2年生)

11月 避難訓練 生徒役員改選

12月 期末考査 終業式

1月 始業式 実力考査 卒業考査(3年生)

2月 入学試験 進路ガイダンス

3月 卒業式 学年末考査 終業式

平成13年度 卒業生進路報告	
卒業生数	進路先
218名	阪南大学
42名	佛教大学
16名	ブール学院大学
40名	短期大学
5名	専門学校
2名	就職
13名	浪人・その他
合格状況	
〔四年制大学〕	
1	神戸芸術工科大学
5	英知大学
3	大阪経済法科大学
1	大阪芸術大学
2	大阪樟蔭女子大学
5	大阪体育大学
1	大谷女子大学
1	大手前大学
1	京都外国語大学
1	京都学園大学
1	京都産業大学
1	京都造形芸術大学
1	近畿大学
1	甲南女子大学
2	神戸海星女子学院大学
1	四天王寺国際仏教大学
1	相愛大学
1	園田学園女子大学
1	宝塚造形芸術大学
1	帝塚山大学
1	帝塚山学院大学
1	天理大学
〔短期大学〕	
1	大阪女子短大
1	国立熊本大学医療技術短大
1	大阪短大
1	大阪青山短大
1	大阪音楽大学短大
1	大阪学院短大
1	大阪キリスト教短大
1	大阪国際女子短大
1	大阪城南女子短大
1	大阪信愛女子短大
1	大阪成蹊女子短大
1	大谷女子短大
1	大手前女子短大
1	華頂短大
1	関西外国語大学短大
1	関西女子短大
1	京都文教短大
1	金蘭短大
1	神戸女子短大
1	神戸常盤短大
1	堺女子短大
1	四天王寺国際仏教短大
1	夙川学院短大
1	聖母女子短大
1	相愛女子短大
1	帝塚山大学短大
1	常盤会短大
1	東大阪短大
〔専修学校・各種学校〕	
1	大阪医科大学附属看護専門学校
1	大手前看護専門学校
1	田北看護専門学校
1	大阪医療技術専門学校
1	日本医療秘書専門学校
1	日本医療秘書専門学校
1	大阪医療福祉専門学校
1	神戸医療福祉専門学校
1	大阪歯科衛生士専門学校
1	大阪歯科大学専門学校
1	大阪短大歯科衛生学院専門学校
1	日本医療事務協会専門学校
1	大阪社会体育専門学校
1	大阪外語専門学校
1	大阪ハイテクノロジー専門学校
1	大阪アノ・ホルティ園芸専門学校
1	コンピュータ総合学園HAL
1	トラジャル旅行ホテル専門学校
1	大阪美容専門学校
1	高津美容専門学校
1	ル・トーア東亜美容専門学校
1	広島県理容美容専門学校
1	大阪あべの辻調理師専門学校
1	大阪芸術大附属大阪美術専門学校
1	大阪スクールオブミュージック専門学校
1	大阪デザイン専門学校
1	桂学園デザイン専門学校
1	大阪コミュニケーション専門学校
1	コスモ動物総合学園

「ふじなみ」3号会報協力金・寄付金ご芳名

- 会員の皆様より今回も協力金・寄付金の主旨にご理解を賜り、ご協力いただきました。役員一同心よりお礼申し上げます。
- 今度のふじなみ会の運営に生かしていきます(敬称略・五十音順)
- 旧職員
- 第1期生 藤井寺高等女学校
 - 第2期生 藤井寺高等女学校
 - 第3期生 藤井寺高等女学校
 - 第4期生 藤井寺高等女学校
 - 第5期生 藤井寺高等女学校
 - 第6期生 藤井寺高等女学校
 - 第7期生 藤井寺高等女学校
 - 第8期生 藤井寺高等女学校
 - 第9期生 藤井寺高等女学校
 - 第10期生 藤井寺高等女学校
 - 第11期生 藤井寺高等女学校
 - 第12期生 藤井寺高等女学校
 - 第13期生 藤井寺高等女学校
 - 第14期生 藤井寺高等女学校
 - 第15期生 藤井寺高等女学校
 - 第16期生 藤井寺高等女学校
 - 第17期生 藤井寺高等女学校
 - 第18期生 藤井寺高等女学校
 - 第19期生 藤井寺高等女学校
 - 第20期生 藤井寺高等女学校
 - 第21期生 藤井寺高等女学校

- 谷岡学園七十周年記念・大阪女子短期大学高等学校同窓会・大学のキャンパス整備事業完成を記念して平成十三年十一月に、ふじなみ会員名簿を発行致しました。会員名簿を購入希望される方は事務所までご連絡下さい。(二冊四、五〇〇円)
- また、名簿につきましては職員の方の索引が抜けるなど不手際がありましたことこの場をお借りしてお詫言申し上げます。
- 同窓会では会員の把握に努めておりますが、結婚・転宅等で毎年多くの方が住所不明となります。住所変更の際には同封してありますハガキもしくは電話・FAXにて同窓会までお知らせください。
- また、ご友人で会報が届いていない方や、ご友人の住所変更、卒業後のクラス会等で名簿を作成されたときも、是非、ご連絡をお願いします。
- 第23期生 上地 禮子
- 第24期生 河合 須美子
- 第25期生 北口 なるみ
- 第26期生 室谷 千代子
- 第27期生 古永 和子
- 第28期生 武内 晴美
- 第29期生 富本 千鶴子
- 第30期生 野田 千鶴子
- 第31期生 上田 俊子
- 第32期生 竹本 三子
- 第33期生 山口 妙子
- 第34期生 野口 弘子
- 第35期生 森本 康子
- 第36期生 山本 康子
- 第37期生 久米 久美子
- 第38期生 豊永 昌子
- 第39期生 岡崎 瑞子
- 第40期生 平良 智子
- 第41期生 岡崎 瑞子
- 第42期生 岡崎 瑞子
- 第43期生 岡崎 瑞子
- 第44期生 岡崎 瑞子
- 第45期生 岡崎 瑞子
- 第46期生 岡崎 瑞子
- 第47期生 岡崎 瑞子
- 第48期生 岡崎 瑞子
- 第49期生 岡崎 瑞子
- 第50期生 岡崎 瑞子
- 第51期生 岡崎 瑞子
- 第52期生 岡崎 瑞子
- 第53期生 岡崎 瑞子

原稿募集!!

◎会報誌に載せませんか?

・クラス会・近況報告・趣味・催し等呼びかけ、ご利用多数おまちしています。

スタツフ募集!!

◎あなたも会報「ふじなみ」の編集スタツフになりませんか?

編集に興味のある方、趣味、話題、エピソードなどをお持ちの方、一緒に「ふじなみ」を作ってくださいませ!

編集後記

経済力低下で、沈んでいた日本がサッカーワールドカップ出場。開催国としてベスト16に入り、久しぶりに盛り上がりつつ元気な日本を見たような気がしました。

ひとつのスポーツを通じて、こんなにも一丸となりサポート出来るんだ。まだまだ日本も元気なんだ。と改めて感じました。

さて、ふじなみ会も昨年7月に総会を開催し、皆様のお陰を持ちまして今まで以上に盛大に盛り上がりました。ありがとうございました。次回も、楽しい企画を用意したいと考えておりますので、ご出席のほどよろしくお願い致します。(T・U)

お願い

今後とも会員の皆様、母校の現状や、情報交換、また会員の活動支援のためにも、引き続きご協力をお願いする次第です。出費多端な折り、誠に恐縮ではございますが、ご理解のうえよろしくお願ひ申し上げます。

●会報の協力金
一口、一、〇〇〇円で何口でも結構です。

●送金方法
会報送付時に、添付していただきます。振込用紙にて、お近くの郵便局にて入金してください。

●連絡先
大阪女子短期大学高等学校
同窓会ふじなみ会
TEL (072) 555-0733
FAX (072) 555-2111